

病害虫発生予察注意報第1号

平成20年9月9日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物 カンキツ類、ナシ、カキ、ブドウ等
2. 病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
3. 発生地域 県内全域
4. 発生時期 9月上旬～10月中旬
5. 発生量 多い

6. 注意報発令の根拠

- (1) 誘蛾灯（松阪市嬉野川北町設置）における8月第1半旬～9月第1半旬のチャバネアオカメムシ誘殺数は、1,454頭（平成268頭）と多です。
- (2) フェロモントラップにおける8月第1～第4週の誘殺数は、津市白山町川口が391頭（平成661頭）、白山町二本木が1,088頭（平成1,279頭）、松阪市嬉野川北町が68頭（平成312頭）とほぼ平成並ですが、昨年より多くなっています。
- (3) 9月第1半旬に、中勢地域のカキ園では局所的に多飛来が確認されており、紀南地域のカンキツ園では広範囲な多飛来が確認されています。

7. 防除対策と注意事項

- (1) 飛来数及び果実被害は園地による差が大きく、山林に近い園地や、園地の周辺部で多くなる傾向があります。園地をよく見回り、飛来を確認したら防除を実施してください。
- (2) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、なるべく広い範囲で散布日を合わせ、一斉防除することによって効果が高くなります。
- (3) 防除薬剤は、各樹種の果樹カメムシ類に登録のある薬剤を用いてください。薬剤使用の際には、再度ラベルの内容（使用時期、使用回数、使用量、希釈倍数等）を確認してください。特に収穫が近い場合は、薬剤の収穫前日数に注意してください。
- (4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので、注意してください。